

## 令和4年度 第1回燕市食物アレルギー対応委員会 会議録（要旨）

日 時：令和4年7月13日（水） 15時30分から16時30分まで

場 所：燕市役所 会議室 301

出席委員：松野委員、伊東委員、村澤委員、青木委員、坂内委員、小嶋委員、小池委員  
落合委員

事務局：教育長、教育次長、主幹、子育て支援課長、他職員8名

議 題：（1）小・中学校における食物アレルギー対応の現状について  
（2）幼稚園・保育園・こども園における食物アレルギー対応の現状について  
（3）児童クラブにおける食物アレルギー対応の現状について  
（4）その他  
園、学校等の現場から

### 【以下、会議録（要旨）】

#### 議 題

（1）小・中学校における食物アレルギー対応の現状について

《事務局説明》

- ① 各小・中学校の食物アレルギー対応給食の児童生徒数  
平成30年度から令和4年度までの、アレルギー対応食児童生徒数の説明をした。
- ② エピペン<sup>®</sup>処方者の人数  
平成30年度から令和4年度までの、エピペン<sup>®</sup>を処方されている児童生徒数の説明をした。
- ③ 学年別食物アレルギー対応給食児童生徒数  
学年別の食物アレルギー除去食・代替食対応している児童生徒数を説明した。
- ④ 食物アレルギーによる誤食等の発症について  
令和4年1月1日から令和4年5月31日までの給食における状況について説明した。（ヒヤリハット事例1件）
- ⑤ 食物アレルギーをもつ児童生徒の保護者との情報交換会について  
6月22日に実施した情報交換会について説明した。
- ⑥ 食物アレルギー対応に係る職員研修  
令和4年度の食物アレルギー対応に係る職員研修の予定を説明した。
- ⑦ 燕市食物アレルギー対応マニュアルの改訂について  
「燕市立小・中学校における食物アレルギー対応マニュアル」の一部改訂について、主な改訂事項を説明した。

○委員（意見）

なし

(2) 幼稚園・保育園・こども園における食物アレルギー対応の現状について

《事務局説明》

- ① 各園の食物アレルギー対応給食の園児数  
平成30年度から令和4年度までの、アレルギー対応給食園児数の説明をした。
- ② エピペン®処方者の人数  
平成30年度から令和4年度までの、エピペン®を処方されている園児数の説明をした。
- ③ クラス別食物アレルギー対応給食園児数  
クラス別の食物アレルギー対応している園児数を説明した。
- ④ 食物アレルギーによる誤食等の発症について  
令和4年1月1日から令和4年5月31日までの給食における状況について説明した。(誤食3件、弁当持参による発症1件)
- ⑤ 食物アレルギー対応に係る職員研修  
令和4年度の食物アレルギー対応に係る職員研修の予定を説明した。
- ⑥ 給食提供に係る食物アレルギー対応マニュアルの改訂について  
「燕市立幼稚園・保育園・こども園における給食提供に係る食物アレルギー対応マニュアル」の主な改訂事項を説明した。

○委員（意見）

生活管理指導表とは別に服薬指示書を依頼されることがある。生活管理指導表に記載した時点で内服させることを前提に書いている。重複しているので整理してほしい。

○事務局（回答）

生活管理指導表の提出があれば服薬指示書は不要として取り扱っているが、徹底されていない部分もあるので、指導していきたい。

○委員（質問）

アレルギーのある子とない子でトレーや皿の色が違うのか。席に札などを立てているか。

○事務局（回答）

アレルギーのある子には色の違う食器、トレーを使って配膳している。アレルギーのない子は保育室で保育士が配膳しているが、アレルギーのある子は調理室で盛り付けをし、保育士が保育室に持っていき、取り扱いを分けている。

○委員（質問）

誤食の事故の中で誤食が分かった時点で直ちに、抗ヒスタミン薬を内服したのか。

○事務局（回答）

1 件目の事例は、保護者と症状が出たら薬を飲ませることとなっていて、症状が出なかったため内服はしなかった。

○委員（意見）

生活管理指導表の抗ヒスタミン薬は誤食した時の対応の仕方として書いてある。症状の出る出ないとは違う。エピペン®は症状があり、進行が考えられるときはすぐに打つ必要がある。抗ヒスタミン薬は誤食が分かった時点ですぐに飲ませるように。

(3) 児童クラブにおける食物アレルギー対応の現状について

《事務局説明》

① 各児童クラブの食物アレルギー対応の児童数

平成 30 年度から令和 4 年度までの、アレルギー対応食児童数の説明をした。

② エピペン®処方者の人数

平成 30 年度から令和 4 年度までの、エピペン®を処方されている児童数の説明をした。

③ 食物アレルギーによる誤食等の発症について

令和 4 年 1 月 1 日から令和 4 年 5 月 31 日までの給食における食物アレルギーの状況について説明した。(誤食なし)

新型コロナウイルス感染拡大のリスクを下げるため、令和 4 年 1 月 24 日からおやつ提供を中止。提供再開は保護者アンケート結果を踏まえ検討中。

④ 食物アレルギー事故を防止するための対応

令和 4 年度の食物アレルギー対応に係る職員研修の予定を説明した。

○委員（意見）

児童クラブの対応について、学校生活管理指導表とは別に児童クラブ用に依頼されることがあるが必要なことなのか。

○事務局（回答）

学校に提出された学校生活管理指導表のコピーを児童クラブ用として使用している。

○委員（意見）

現在、コロナ感染症の感染予防策としておやつ提供を見合わせているが、児童クラブでおやつ提供がないと長時間何も食べない状態が続く。低学年でのおやつは特に第 4 の食事とされるほど重要な役割を果たす。

保護者アンケートを実施したそうだが、アンケートの結果が出ていれば教えてほしい。

○事務局（回答）

アンケートでは、「令和4年度に関しては中止する」という回答が一番多くあった。次に、「感染状況を踏まえて提供するかどうか決定する」という回答が多かった。

令和4年度に関してはおやつを提供を中止する予定だが、延長利用者は補食ができる対応を検討していきたい。

(4) その他

○事務局（質問）

県立吉田病院の小児の入院受け入れを制限しているとお聞きしたが、エピペン®使用者や救急搬送の対応について教えていただきたい。

○委員（回答）

今年度は以前と同様にエピペン®使用者は県立吉田病院が受け入れをしている。小児科の病床数が減っているが、アレルギーに関しては今まで通り対応できる。

○委員

今回のご意見等を子育て支援課とともに園長会等で周知し、これからも気を引き締めてアレルギー対応をしていきたい。

○委員

安全な給食を子どもたちに提供することが一番重要。今回の事故で原因が、「あわてて」、「確認せず」、「見落とし」という言葉がいくつかあった。改めて「複数で確認」、「情報共有」が重要と感じた。今後も身を引き締めていきたい。

○委員（質問）

緊急時の対応については、園や学校独自で作成したものなのか、市で統一のものなのか。救急搬送の際は、マニュアルにある経過記録票を救急隊員に引き継ぐ対応になっているか。

○委員（回答）

基本は教育委員会が作成したマニュアルに沿っているが、各学校に応じて学校独自のマニュアルもある。各学校の給食開始前までに緊急時の対応について研修を行っている。救急搬送の際は、救急車到着までの記録として、どの職員も対応できるようになっていて、救急隊員に引き継ぐことになっている。

○委員

通信指令室と救急隊員にも周知する。

閉会